

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

調剤報酬全点数解説（2022年度改定版） 「重複投薬・相互作用等防止加算」

作成：日医工株式会社（公社）日本医薬経営コンサルタント協会認定 登録番号第6411号 河野誠
 日医工株式会社（公社）日本医薬経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

凡例

告示・通知

疑義解釈

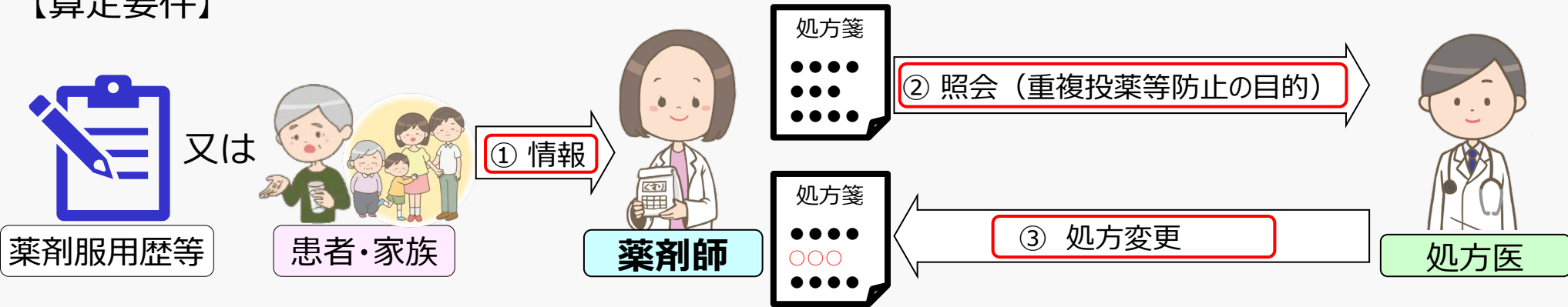
資料No.20220415-1199

本資料は、2022年4月13日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです
 が、その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接
 または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます



| 内容 | 点数 | |
|--|------------------|-----|
| 薬剤服用歴等又は患者及びその家族等からの情報等に基づき、 重複投薬、相互作用の防止等の目的で、処方医に対して照会を行い、 処方に変更が行われた場合 （処方箋受付1回につき） ※複数の項目に該当した場合であっても、 重複しての算定は不可 ※手帳の活用実績があると認められない薬局（50%以下）は 算定不可 | イ 残薬調整に係るもの以外の場合 | 40点 |
| | ロ 残薬調整に係るものの場合 | 30点 |

【算定要件】



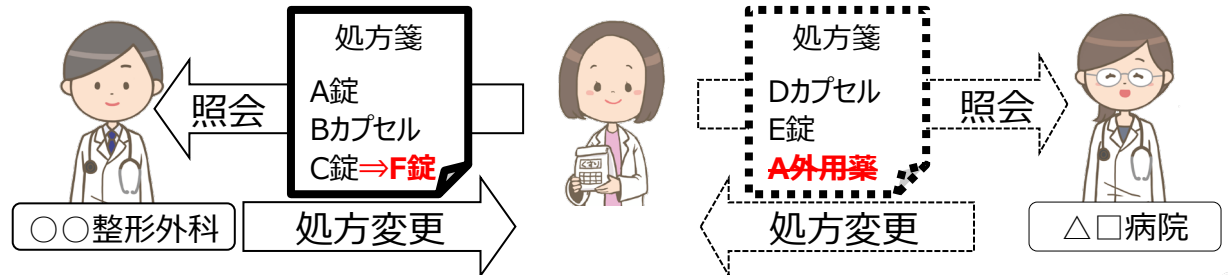
共通

- 薬剤服用歴等に記載
- 処方医への連絡・確認内容の要点
 - 変更内容



共通

同時に複数処方箋を受付、それぞれの処方内容が変更された場合**1回に限り算定**

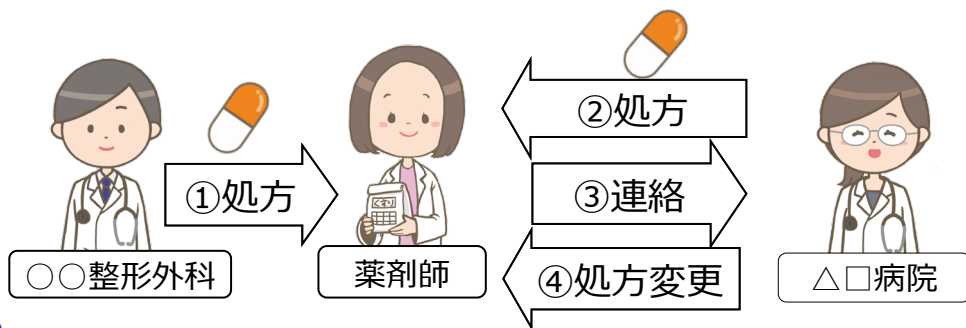


算定要件 (イ、ロ、疑義解釈)

イ 残薬調整に係るもの以外の場合

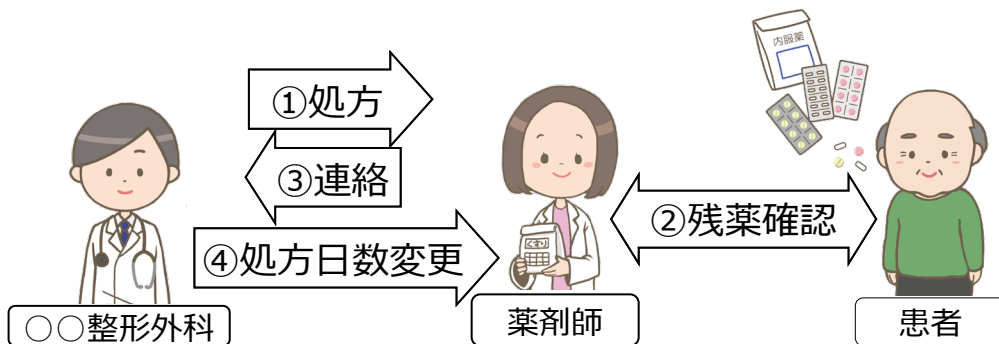
処方医に対し連絡・確認
処方変更の場合に算定

- 併用薬との重複投薬
- 併用薬、飲食物等との相互作用
- **薬学的観点から必要と認める事項**



ロ 残薬調整に係るものの場合

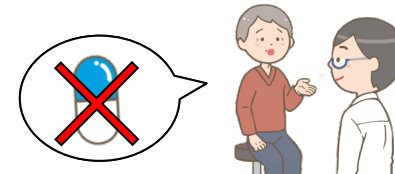
残薬について処方医に対して連絡・確認、処方変更の場合に算定



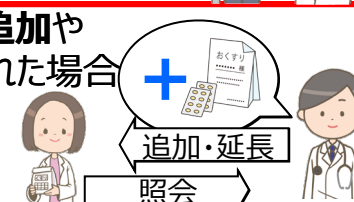
【2016/3/31疑義解釈その1】

薬剤師が薬学的観点から必要と認め、
処方医に疑義照会した上で処方変更された場合

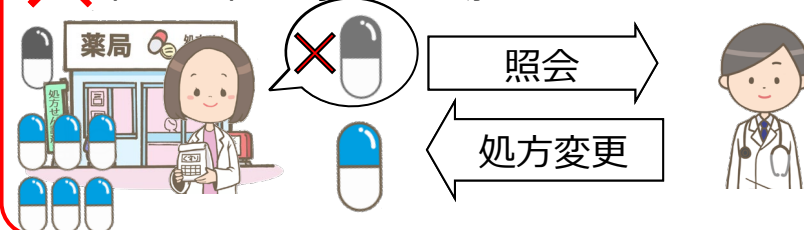
○ **アレルギー歴や副作用歴などの情報に基づき
処方変更となった場合**



○ **薬学的観点から薬剤の追加や
投与期間の延長が行われた場合**



✗ **薬局に備蓄がないため疑義照会して
他の医薬品に変更した場合**



○ **同一医療機関の同一診療科から発行された処方箋**

